

「介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する検討会」に対するアンケート調査

アンケート集計結果

アンケート数 48

基礎情報（延べ数）

項目	あり	なし
1 主任介護支援専門員資格	11	37
2 事業者加算	21	27

3 所属機関	
居宅	38
施設	6
地域密着	3
その他	1
① 事業者内の人数	
1名	11
2名	8
3名以上	29

あり方検討会について協議のあり・なしによる内訳

②あり方検討会について協議	あり 31	なし 17
◎主任介護支援専門員	9	2
◎事業所加算	14	7
◎居宅	27	11
◎施設	3	3
◎地域密着	0	3
◎その他	1	0
◎事業所人員		
1人	8	3
2人	6	2
3人以上	17	12
◎ない理由		
「あり方検討会」について知らなかった		11
どのような状況か情報収集が出来なかった		5
必要性を感じなかった		1
その他		0

③1 ある方（どんな話し合いがなされたか）

- 今後の動向について何を実践していく必要があるか
- 計画書様式の変更について
- ケアマネの存在意義について
- 今後のケアマネのあり方や必要性
- 専門職というがプロ性についていうと難しい事、専門職なのか？
- ケアマネが集まった場で自らもその1人としてみていると、危機感を感じる
- 医療との連携をとるための具体的な事例が問題点
- アセスメント、モニタリングの重要性は認識しているが、その内容にバラツキがあるのは書式などの統一がなされていないのが1つの原因ではないか様々な方式が出回っていて収集がつかない
- 杖1本レンタルするだけで、居宅支援費が入るのはどうかと思う
- ケアマネが1名であると、困難ケースや対応処遇で悩むようなときに相談してくれる人がいない事
- 健康維持し事業所を休むわけにはいかない事
- ケアマネの加算や業務。流れを当然把握しているが他サービス事業内容の加算やいつそれを算定できるのか判断がつかない事
- ケアマネにはあたりはずれがあるとの声をしばしば耳にします
- ケアマネに限らずビジネスマナー不足や教養の低さを感じる関係者が多い
- 高齢の方に対する敬いも薄れている（サービス化、商品化など）
- 1人ケアマネの場合のリスク管理
- 事業所は運営基準を守ることと収益を維持することで精一杯、ケアマネの資質向上したところで、メリットがない以上前向きになれないのが現状、当日資質や能力により評価される機会が少ないしケアマネや介護保険の理解が乏しい経営者サイドだと仕事内容も理解されていないのが現状
- あり方検討会で、話し合われていることの情報共有
- 運営基準についてアセスメントについてなど、日常の業務を通して話をするところがある
- ケアマネの質にむらがあり、存在すらも問われていること
（他のサービス事業所と同様に選ばれるケアマネになるためにはどのような努力が必要かかんがえたい）
- ケアマネ研修を受けた者からケアマネである以上自助努力をしないといけないこと
- 沢山の知識を持ち活用しなければならない
- 制度変更が多く、利用者の理解をいただくのが、本当に困難であり今後の制度存続について自信を持って助言が出来ない、私達の資質といわれれば、それまでなのかも知れないが何か違うのではないだろうか
- 場合によっては、ケアマネ不要論も出ているため危機感を抱きつつ1人1人のレベルアップが必要
- 利用者の希望する介護保険サービスとケアマネから見た（必要性を感じる）介護保険サービスのギャップがある（このギャップを埋めるための話し合いに必要な会話の仕方や対応、情報・傾聴を向上させる必要性を感じる）

- 多分ケアマネと一口に言っても利用者支援の方法に違いがあり、医療の事、認知症の事・家族の問題など幅広いマネージメントが滞りなく出来る事が必要と思われるということで、アセスメント能力を向上させる大切さについて話し合いをした
- 地域包括ケアに変わり、ケアマネが必要なくなる
- ケアマネとしてどんな勉強、研修を積んだらよいか
- 定期的で開催しているミーティングの中でケアプランの内容や質についての話し合いをしたことがある
- ミーティングの中で（毎朝）ケアプランの内容や質について話し合いを行いました目標に立て方についても皆が判るようにより具体的に表現し作成する
- ミーティングの中で（毎朝）ケアプランの内容や質について話し合いを行いました。
- ケアマネージャーの資質のバラツキがあまりにも大きい。
- 誰のためのケアマネージメントなのか分からなくなっている。
- 規則一点張りであれも駄目これも駄目他の方法を考えない（答えの最後はだって法律でそう決まっているのだから）
- 今は量より質のケアマネージャーの時代だそうで試験の合格率も確かに厳しくなっているようだが頭が良いだけでは質の良いケアマネージャーとは言えないと思う。まず、根底にお年寄りが好きである事が大切なのではないかと考える。
- 各自が出た研修会内容を発表。
- 月刊ケアマネージメントを読み、問題点を知る。
- 担当者会議の実習をしてほしいと提案中。
- 介護の方向性を知りたい。
- 書式の変更について今まで独自の書式を使用しているがそれでよいのか不安。
- あり方検討会でどんな話がされているか。
- 居宅サービス計画書の新様式について。
- ミーティングを定期的で開催しケアプランの内容などについて話し合いをしています。
- 各サービス内容の事業所の情報をケアマネから見てどうなのかとかが知りたいし情報が把握できていないのに困っている。
- 介護保険の申請をし、サービスを使用しない方の割合がどのくらいいらっしゃるのか知りたいです。
- 利用者家族が希望するサービスとケアマネが必要と感じるサービスが合わない場合の説明の仕方によって上手く理解してもらえないときの対応が難しいときがある。
- 担当の件数について
- 認知症ケアの倫理
- 認知症の方のケアマネージメントに関して。
- 成年後見に関して
- 医療に関する知識不足を感じている。
- 困難事例の事例検討
- 利用者に対する傾聴と共感
- 自分が失敗した事柄についてどこをどのようにしたか、良かったのかなど。

- 計画書の書式が変わることによってさらにケアマネの資質が問われるようになってきている。
- 事例の検討
- 軽度者レンタルの申請について
- ケアマネの質について
- 担当件数について
- 困難事例や緊急時での対応など、どこまで関わるかなども
- これ以上書類が多くなり業務が繁忙にならないといいと思う。
- 本人家族と共に問題解決に当たるとき情報提供をしながらも本人家族の自主的な決定に時間を要するときなどは時間の経過の中でつい転ばぬ先の杖的動きをしてしまうことが多くなる傾向、待つ姿勢は難しいときもある。
- あり方検討回の資料を回覧し概略を説明した。

① その他 連絡会への意見・要望

- 情報交換会の開催時期を月始より外してほしい
- 資質向上と一言でくくっても利用者とのやり取りでうやむやになる事例があるので、事例検討会を開催してほしい
- 今までどおり、情報の提供をお願いします
- いろいろな研修をしていただき、ありがとうございます
ただ、研修時間は夕方からのため、日中の疲れがでてしまう事があるため土曜日の午後など、日中の時間での開催について検討していただきたいと思います
- 虐待、家族が精神障害のケースなど、相談支援が介入しづらいケースについての対応方法について
- 重度認知症の方のサービス事業所の受入れ体制を知りたい（暴言・暴力行為・破壊行為等）
- 資格の更新研修についての情報がほしいです
- 情報提供の研修
- 面接研修 いろんな方が講師のほうが幅広い話ができる
- 他職種交流会をもっと多く企画して欲しい
- 研修が夜間にあるので、たまには日中の時間帯で開催していただけると参加出来るのですが・・・
- 新しく出来たサービス（定期巡回型、随時対応・・・）のことがインフォーマルサービスについて情報交換の勉強会など
- 他サービス事業所の加算計上の内容やレアケースで訪問介護としてこのようなケアプラン文言を入れてもらった方が援助に関りやすい等があれば、他サービス事業所から話を伺いたい
- 通所介護や訪問看護でも、この加算を入れてほしいと言われるので、本を読んでも今ひとつ理解出来ないことがある
- 居宅ケアマネに対しての研修が多いので、施設ケアマネの悩みを吸い上げる研修や、施設と居宅とが交流できる場があれば嬉しい

- 居宅では法令順守が基本でしぼりの多い中で業務が常識だが、施設では、守っているが居宅での厳しさにはない別の世界のような気がする
- 感性が大切というが、感性とは？ 専門性とは？
- 介護保険など最新情報などの情報提供
- 介護保険について、今後の動向や地域の情報をキャッチできる研修
- 他地域で独自の取組みで好結果となっている事などの紹介
- 病院MSW（地域内）との合同の在宅生活に向けて考え方のすり合わせなど
- 社会資源の説明や活用方法を良く知りたい
- 困難事例の研修
- ケアマネQ&A
- 資質低下と思われる事例や内容、又原因について
- 居宅だけでなく施設ケアマネの研修を行なってほしい
ケアマネというとしても居宅がメインとなってしまいます、施設ケアマネは人員も少なく話す相手少なく、相談出来ずにいます、他施設同士の連絡会があってもいいかと思えます
- 職能団体として外部へのアピールが必要
- 対応に苦慮するときの適切な対応方法について
- 押さえておくべき法令について
- 制度の学習会
- 支援経過の記録の残し方、書き方
- 生活ニーズ、アセスメントから暫定プラン作成に関して
- 医師との連携のあり方
- 市の福祉制度について
- 障害者（身体・精神）制度と介護保険との関連
- 地域との関り方について
- 困難事例検討会
- 障害者福祉と介護保険との制度の利用のしかたについて
- 認知症進行の方の対応（暴力、食欲減退など）
- 小規模多機能の特性
- 複合型の特性
- 状況の急変の対応やケアマネとして、事業所としてどこまで関るか等、事例研修
- コーチング研修（対人援助、コミュニケーション研修等）
- 自己を知るための研修
- 精神科病院や認知症病棟がある病院の内容が伝わってきません、ケアマネとして、どんなときにどのように利用出来るか知りたい

皆様アンケートご協力ありがとうございました。

考察を含めた、まとめについては総会時に皆様へ配布したいと思います。